

海外短信



～ 中国 ～

「五羊石像」

～ 住江織物株式会社 ～



広州「五羊石像」とアジア大会マスコット（5匹の羊）の風景

今回は中国広州から寄稿させていただきます。

広州はご存じの通り北京・上海に次ぐ中国第3の都市であり、人口が700万人とも1000万人とも言われています。近年急ピッチで開発が進み高層ビルが所狭しと建ち並んでいます。

特に来年のアジア大会（10年11月12日～27日）に向けて道路・ホテル・地下鉄等街のいたるところで工事をしており、不況などどこ吹く風 と言う感があります。

また、何やら意味不明のもモニュメントまで登場し、いつも見るたびに頭の上になにかが出ています。

広州はまたの名を“羊城”“穗城”と呼ばれています。言い伝えでは、周の時代 毎年の災害のため人々は飢饉に苦しめられていたと言います。

ある日南海上空に5色の瑞雲が漂い5人の仙人が5色の稲穂を銜えた5匹の羊に跨り舞い降り、その稲穂を人々に与えこの地に再び飢饉が来ないように祈りを捧げました。その結果、気候が温暖となり以降飢饉にみまわれることなく生活ができるようになったと言います。

その話にちなみ、広州のほぼ中央に位置する「越秀公園」内に「五羊石像」がひときわ大きく建立されており、アジア大会のマスコットとしても活用されています。

『21世紀はアジアの時代』と言われる方がいらっしゃいます。
「アジアの時代」ではなく「中国の時代」になっていくのではと考えております。

食の安全性や環境問題等負の部分も沢山ある中国ですが、急速に近代化を進めている中国。これからもどんどん変わっていくであろう中国に皆さんもご注目ください。



発展する広州市街と巨大モニュメントの風景